

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高野地域協議体 なんすかんずつながる会			代表者名	草谷 洋
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	下高自治振興区	連絡先電話番号	0824-86-2679
担当者役職	事務局長	担当者氏名	草谷 洋	連絡先E-mail	
住所	727-0423 広島県庄原市高野町下門8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	庄原市	連絡先部署	庄原市役所高野支所		
担当者氏名	小谷 美江	連絡先電話番号	0824-86-2115	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	生活支援体制整備事業		
概要	高野地域の生活交通に関して、住民との協議や住民アンケートの分析結果から、地域の特性に合った移動支援を検討し、地域での取り組みを実施する。また、交通を軸にしたマーケティングによる地域内経済循環の仕組みを構築し、地域事業者の所得向上や地域活性化、暮らしやすさの向上を図る。移動支援やマーケティング、経済循環の手法等に対するICT技術の利用について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	計画策定支援 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) デジタルデバインド対策 地域ビジネス ICT活用広報				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	250K	令和7年2月13日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年1月25日	支援・助言(実地)	8時30分	15時30分	
				活動時間(分)	420
2-2. 派遣場所	会場名	高野支所		最寄駅	三次
	所在地	広島県庄原市高野町新市1171番地1		最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福島 健一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ワークショップやディスカッションにより、今まで参加できなかった住民の意見も交え、高野町に今後何が必要かを聞き出すことが出来た。 ・人口減少に伴う事業所の存続・高齢者、子ども等移動弱者の町内、町外への移動手段(不便である)・移動が難しい高齢者への食、日用品、日常生活等へのサポート、出て離れた子どもへの状況報告・高齢者の生きがいの創設・効率の良い情報伝達の方法等。
アドバイザーへの要望事項	ワークショップやディスカッションにより、高野町に今後何が必要かを分析し、どんな仕組みを入れたら上記課題が解決するか、具体的に方向性を共に考えていくにはどんな材料が必要か、具体的に教えてほしい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	16人
	属性 自治体職員 住民 企業・団体 その他(学生など)	人数 2 10 4	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) ・人口減少に伴う事業所の存続・高齢者、子ども等移動弱者の町内、町外への移動手段(不便である) ・移動が難しい高齢者への食、日用品、日常生活(草刈り、雪下ろし、電球取替)等へのサポート ・高齢者の生きがいの創設(集まりの場の強化) モビリティに係る課題について、ICT技術を導入し、利便性を向上していくことで、新たな移動支援や住民の困りごとへの仕組みづくりが課題解決に効果的であると感じている。		
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	1.おでかけわごんの予約システム(個人予約、集まりの場代表者による団体予約)の構築 2.地域のコンビニと連携した買い物支援システムの構築・休憩場所や集まりの場への移動販売車の配車予約等 3.おでかけわごんの制度や、バスを待つための町内中心部休憩場所、おでかけわごん帰り便代行予約事業所の周知、おでかけわごん利用で参加できる行事の啓発等情報提供を行うHP等の作成。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前：ワークショップ形式で高野町内の区長、自治会長、老人会長、社会福祉協議会、議員、市の職員等で先生のご指導のもと、「高野町のありたい姿をかんがえよう」と題し、おでかけわごんを持続可能なものにしていくにはどうしたらいいか。ICTを利用してどうにかならないか。おでかけわごんをどうするのではなくこの町の方向をみんなで意見を出しあい(3色の付箋に、黄：高野のここが問題(課題)、赤：高野町はこうなって欲しい街(希望)青：結論(公共交通を使って出来ること) 課題・希望から考える根っこの部分)、方向性に見合った提案を受ける。 午後：先生の講義を聞き、午前のワークショップを元に先生とのディスカッションを実施	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ワークショップ、ディスカッションでの意見出しとして下記2点の対策の重要性を指摘された ①現時点における高齢者を中心とした対策(上記成果 1,2) ②中期的な需要喚起の対策(上記成果 3) ①②で優先度をつけ、実施していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 上記内容について、次の派遣までに協議体で具体的に検討を行い、成果として形にできればと考える。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	2.地域のコンビニと連携した買い物支援システムの構築・休憩場所や集まりの場への移動販売車の配車予約等 2.については、材料の提示が必要であるため、今後福島先生と打ち合わせを行い地域の現状に応じた方法で実行していく。協議体としても必要な材料を事業者と調整しスピーディに物事が進むよう調整していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ワークショップやディスカッションにより、高野町に今後何が必要かを分析し第3回目支援につなげていく	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 上記課題を達成するためどんなツールを導入していくかこれから検討していく、必要な経費があれば具体的に積算し、来年度予算化を図っていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICT技術を活用できるものは取り入れていくことで利便性が向上し、地域の経済循環が高まること、住民の暮らしがさらに豊かになるよう生活支援体制を築いていく。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

